

ブロック：西海ブロック

1. スジアラ 南西諸島海域

海域	南西諸島海域	参加機関	水産研究・教育機構 水産技術研究所 鹿児島県水産技術センター 沖縄県水産海洋技術センター
----	--------	------	--

(1) 調査の概要

- ・機構は、調査指針および状況報告書を取りまとめた。
- ・機構と鹿児島県、沖縄県は、生物情報収集調査を担当した。
- ・機構は、行動追跡調査を開始した。

(2) データ収集状況

- ・鹿児島県では、奄美群島及び熊毛地区（種子・屋久）におけるスジアラの水揚データを収集した。
- ・沖縄県では、県内全域のスジアラ属の漁獲量を収集した。
- ・機構では南西諸島およびその周辺海域で漁獲されたスジアラ197尾を買い取り、精密測定を開始した。また、参加機関が保有するデータの集約及び共有化を開始した。
- ・機構は沖縄県八重山諸島に生息するスジアラの行動追跡を開始した。17尾にアーカイバルタグを装着し、放流した（図1）。現在までに再捕は報告されていない。

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊： 相模湾以南の太平洋岸、長崎、琉球列島～西部太平洋、オーストラリア北西岸。
- (2) 年齢・成長： 先行研究として $FL = 61.2(1 - e^{-0.289(\text{age} - 0.41)})$ （Ebisawa 2013）の知見があるが地域個体群によって差がある。
- (3) 成熟・産卵： 沖縄諸島では5月から7月が産卵期であり、半数成熟体長（雌）は43.3 cm、半数成熟年齢は5歳である（Ebisawa 2013）。奄美群島及び熊毛地区（種子・屋久）については解析中である。
- (4) 被捕食関係： 調査データから解析中

(4) 備考

- ・鹿児島県及び沖縄県ともに2021年の漁獲量及びCPUEのデータ収集中である。



図1. アーカイバルタグを装着し放流したスジアラ